

第29回日中河川及び水資源交流会議(2020.12)【結果概要】

国土交通省と中国水利部は、2020年12月、オンライン形式で「第29回日中河川及び水資源交流会議」を開催し、水資源政策、治水計画、洪水予報の3つのテーマで意見交換を行いました。

- 1. 背景・目的**
 - ✓ 1985年より覚書に基づき開催。両国の河川・水資源行政・技術の向上等を図ることを目的として、意見交換、現地視察を行っている。(これまでに28回開催。)※今回はオンライン形式のため現地視察は省略。
 - ✓ 今回の会議は、水資源政策、治水計画、洪水予報の3つのテーマで行い、例えば、治水計画については中国の長江と日本の球磨川での具体的な事例について被災状況や対応をお互いに紹介し、意見交換を行った。両国から計180名超が参加した。

2. 日程・形式 2020/12/15(火) オンライン形式

3. 参加者
【日本】国土交通省 水局(若林水資源部長、廣瀬河川計画課長、藤巻治水課長、竹島水資源部水資源計画課長、村瀬河川計画課国際室長、河川環境課河川保全企画室 久保企画専門官 等)、在中国大使館 岩本一等書記官
【中国】水利部(李国際協力・科技司副司長、馬水資源司副処長、駱水旱災害防御司副処長、侯情報センター予報センター副処長 等)、7大流域管理組織、中国水利水電科院研究院

会議の様子 (左:オンライン画面、中・右:日本側会議参加者)



実施結果
✓ 気候変動が進み異常気象が多発する中、両国の課題には共通するところが多く、協力を進めていくことで河川及び水資源の管理レベル向上につながり、さらに取組を高めることができることを確認した。